

新たな「防災・安全交付金」を活用し、長期的なインフラ管理計画策定を

質問者 齋藤成宏

国土交通省は、東日本大震災や中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故を教訓に、老朽化が進む自治体管理のインフラの点検・改修を支援するための「防災・安全交付金」を創設するとしている。町としても、新たな交付金を最大限に活用し、道路や橋梁などの都市基盤施設を総点検すべきである。維持管理に向けた課題をまとめ、長期的なインフラ管理計画策定を検討すべきと考えるが。